

3－5 茨城県沖の地震（1990年 8 月 5 日・M5.8）

The Earthquake off the East Coast of Ibaraki Prefecture (August 5, 1990・M5.8)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1990年 8 月 5 日12時36分頃、茨城県沖でM5.8の地震が発生、最大震度は4（水戸・銚子）を観測した〔第1図〕。この地震による被害発生への報告はない。

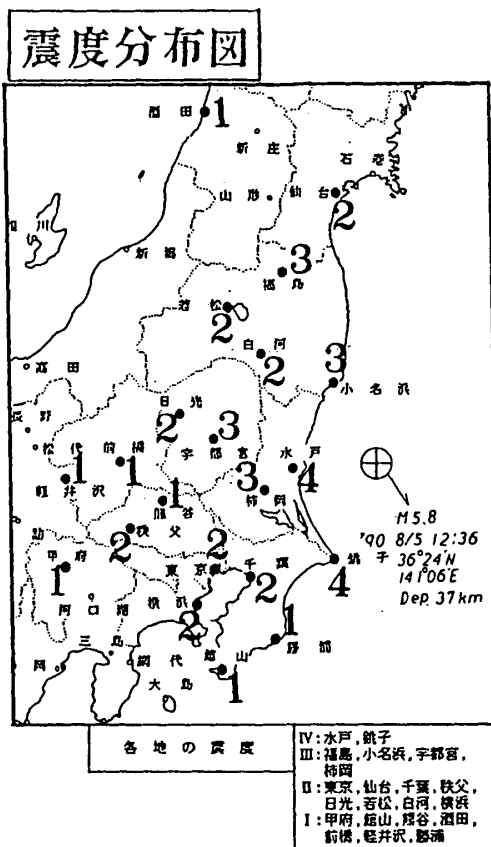
メカニズムは、東北東―西南西圧縮の逆断層タイプとなった〔第2図〕。

余震活動はすこぶる低調で、8月25日までに震源決定された余震数は6個と少なく、最大余震はM3.0（21日01時05分）であった〔第3図〕。

通常この付近は、地震の発生数が割合多いところであるが、7月中旬に入ってから、静かな状態が続いていた。なお、本年2月12日に、今回の地震の西方約8kmのところで、M5.3*（深さ38.3km）の地震が発生しているが、この場合も余震活動はきわめて低調であったほか、地震発生前に活動がしばらく静穏化した時期があった〔第4図〕。今回の活動のパターンとかなりの類似性がみられることは興味深い。

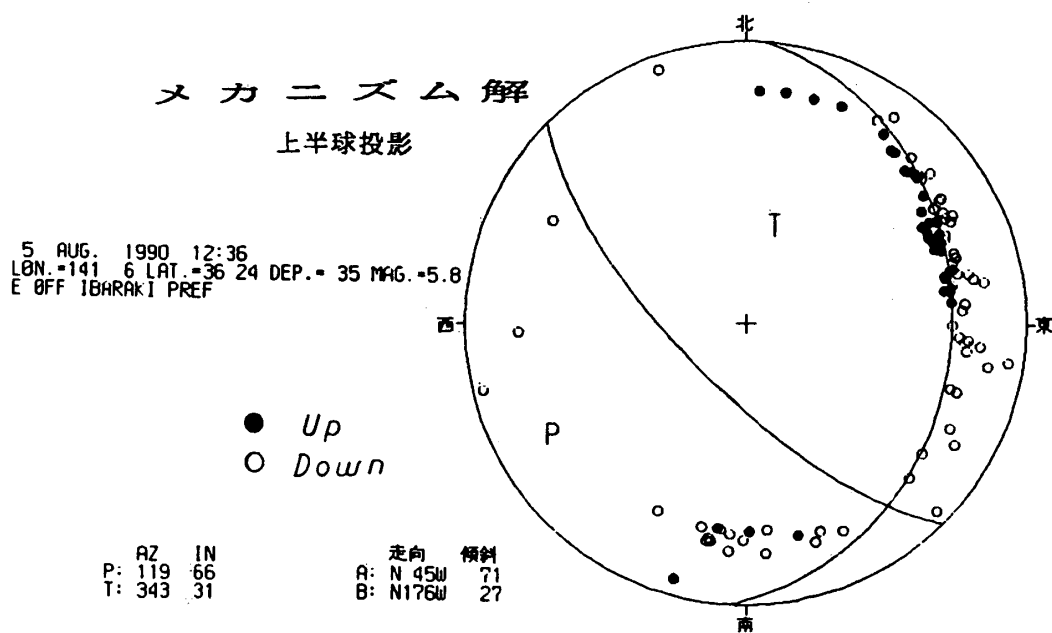
この海域におけるM5.5以上の地震発生状況は、周辺域に比べて比較的多く、1926年以降今回を含めて25個となっている〔第5図〕。また、第5図の時空間分布・M―T図からは、ここでの活動に周期性があるように見える。今後の推移に留意したい。

注：1990年 8 月 1 日からの資料は暫定。なお、本震の再計算結果（最終値）による震源要素は、5日12時36分25.1秒、36° 24.1′ N・141° 06.6′ E、M5.8、深さ39.1km。*の地震については、地震予知連絡会会報第44巻「茨城県沖の地震（1990年 2 月12日）」参照。



第1図 茨城県沖の地震の震度分布 (1990年8月5日・M5.8)

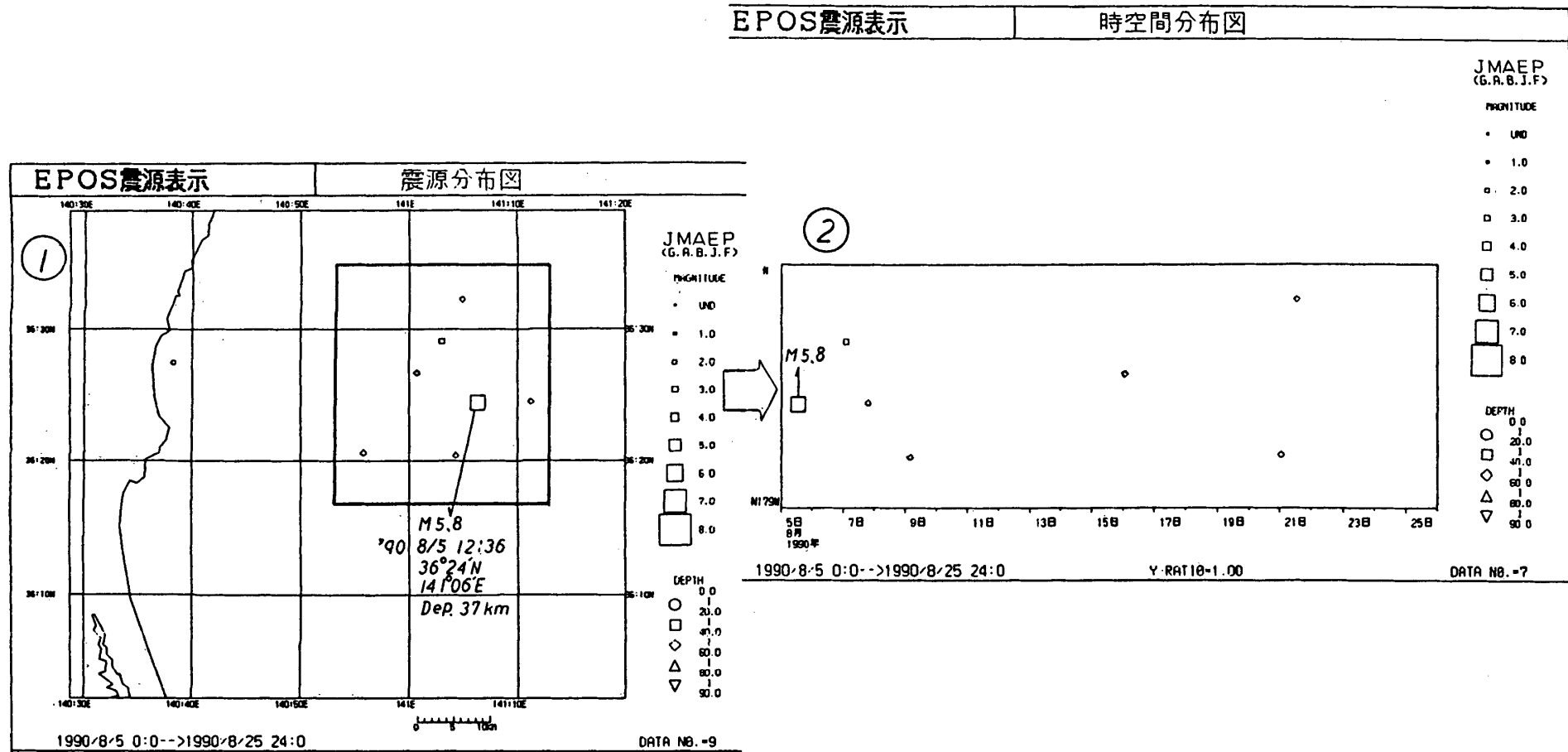
Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake off the east coast of Ibaraki Prefecture (August 5, 1990・M5.8).



第2図 地震のメカニズム解 (上半球投影)

●: 押し, ○: 引き

Fig. 2 Focal mechanism solutions (Projected on the upper hemisphere).
●: up, ○: down.

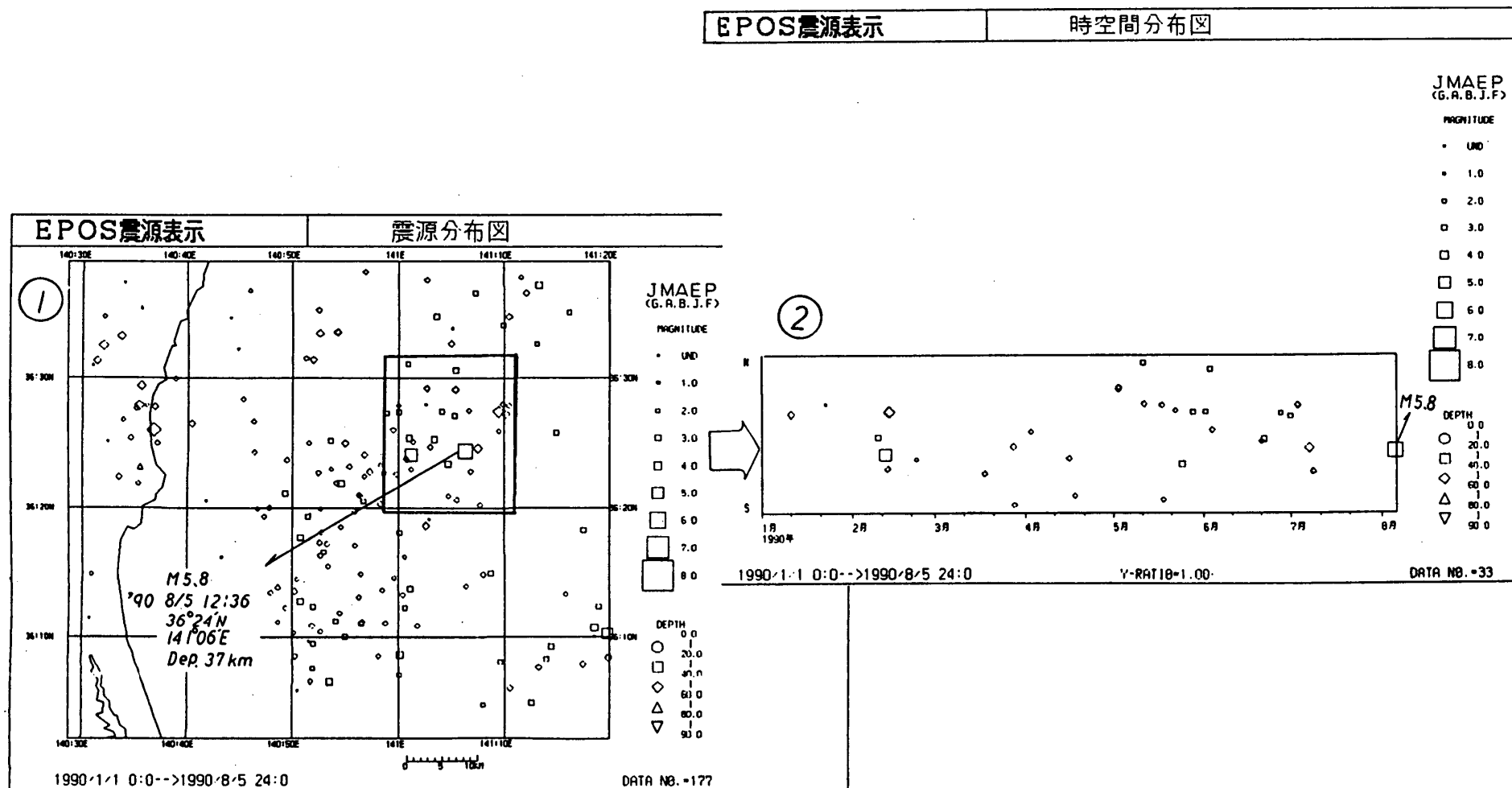


第3図 茨城県沖の地震活動（1990年8月5日～25日）

①：震央分布，②：時空間分布

Fig. 3 Seismic activity off the east coast of Ibaraki Pref. (August 5 – 25, 1990).

①：Epicentral distribution, ②：Space-time plot.

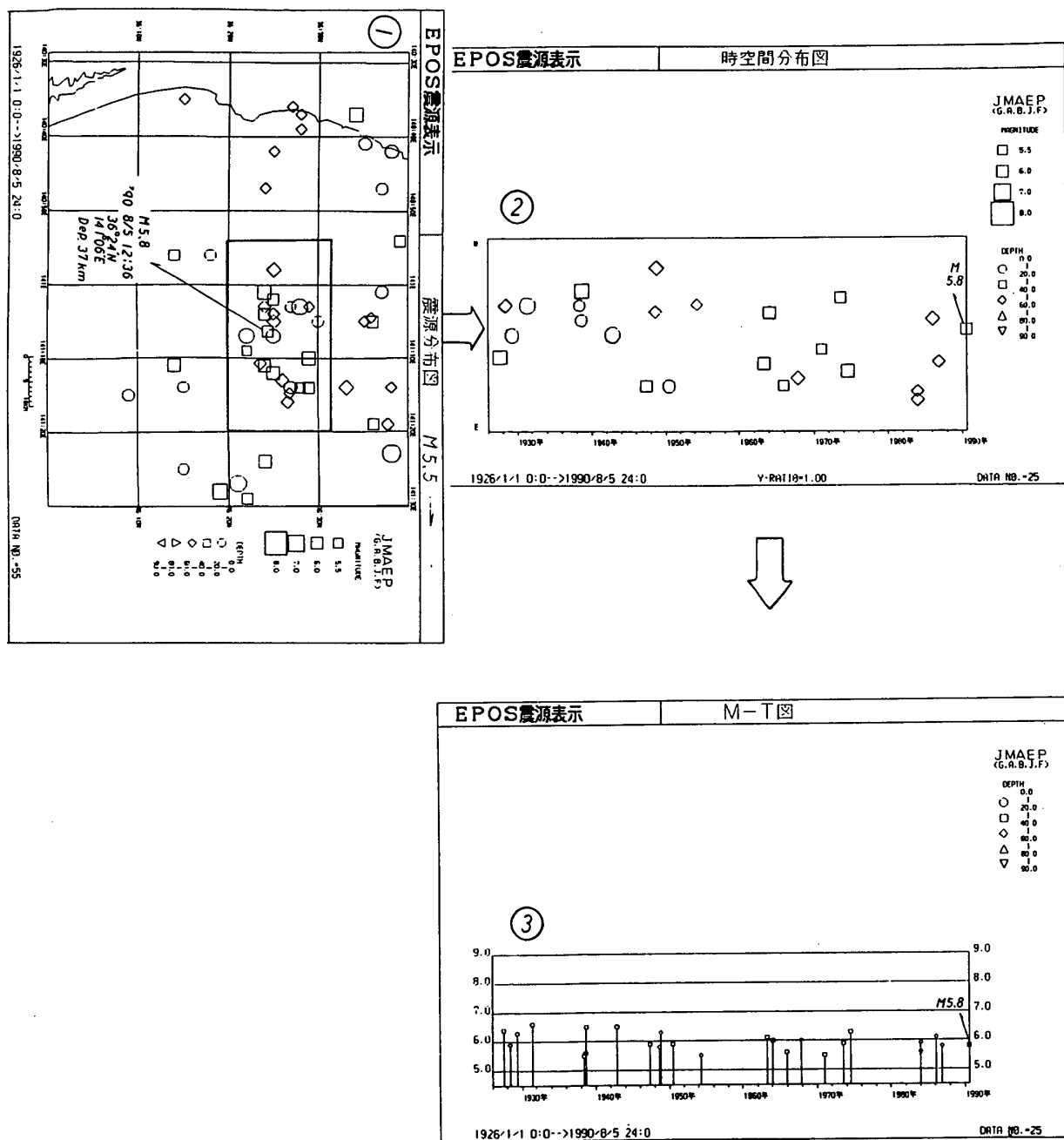


第4図 茨城県沖の地震活動（1990年1月1日～8月5日）

①：震央分布，②：時空間分布

Fig. 4 Seismic activity off the east coast of Ibaraki Pref. (January 1 – August 5, 1990).

①：Epicentral distribution, ②：Space-time plot.



第5図 茨城県沖の地震活動 (1926年1月1日～1990年8月5日・M5.5以上)

①：震央分布，②：時空間分布，③：M-T図

Fig. 5 Seismic activity off the east coast of Ibaraki Pref. (January 1, 1926 – August 5, 1990・ $M \geq 5.5$).

① : Epicentral distribution, ② : Space-time plot, ③ : M-T diagram.